

「田布施町人口ビジョン」とは

本町の人口の現状を分析し、人口に関する町民の認識を共有しながら、今後目指すべき将来の方向と人口の将来展望を示すもので、同時に策定する総合戦略の施策を企画立案するうえでの基礎となるものです。

人口の現状分析（国勢調査）

○本町の人口

昭和30年合併当時1万6579人で、その後大きな増減なく推移してきましたが、昭和60年の1万6740人をピークに減少傾向となり、平成22年度で1万5986人となっています。

○自然動態の推移

近年、死亡数が出生数を上回る自然減が続いており、平成25年では89人の減となっています。

○合計特殊出生率

一人の女性が生涯に産む子どもの数（合計特殊出生率）は、平成20年～平成24年では1.48と、県の1.52に比べ低くなっています。

○社会動態の推移

平成20年以降、転出が転入を

上回る社会減が続いており、平成25年は57人の減となっています。特に、大学進学や就職による10代後半から20代前半の転出が多い状況です。

3つの基本的視点

人口ビジョンでは、3つの基本的視点に基づき総合戦略施策の基礎としています。

- ① 多様な働く場の不足による若年層の流出を止める
- ② 出生率の低迷による継続的な人口減少の流れを変える
- ③ 安心して住み続けられる良好な生活環境を確保する

将来人口の推計

(ア)国の人口推計では、田布施町は平成72年に9123人まで減少するとされています。

(イ)しかし、本町の人口推計では、現在策定中の総合戦略に掲げる施策の効果を見込み、合計特殊出生率を、県と同様に平成42年に1.90、平成52年に2.07とし、平成47年以降の転出超過となっている年代の転出数をゼロとした独自推計を行っています。

した。

(ウ)これによると、本町の人口は、(ア)の国の推計より約2200人多い1万1000人以上の人口維持が図れることとなります。

今回は総合戦略についてお知らせします。

パブリックコメントを実施

現在作成中の計画（案）などを公表します。皆様のご意見を伺い合わせください。
※詳細はお問い合わせください。

◇パブリックコメント対象計画（案）

・第5次田布施町総合計画（後期）基本計画（案）

・田布施町人口ビジョン（案）

・田布施町まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）およびアクションプラン（案）

・田布施町まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）およびアクションプラン（案）

・田布施町人口ビジョン（案）

・第5次田布施町総合計画（後期）基本計画（案）

・田布施町まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）およびアクションプラン（案）

・田布施町人口ビジョン（案）

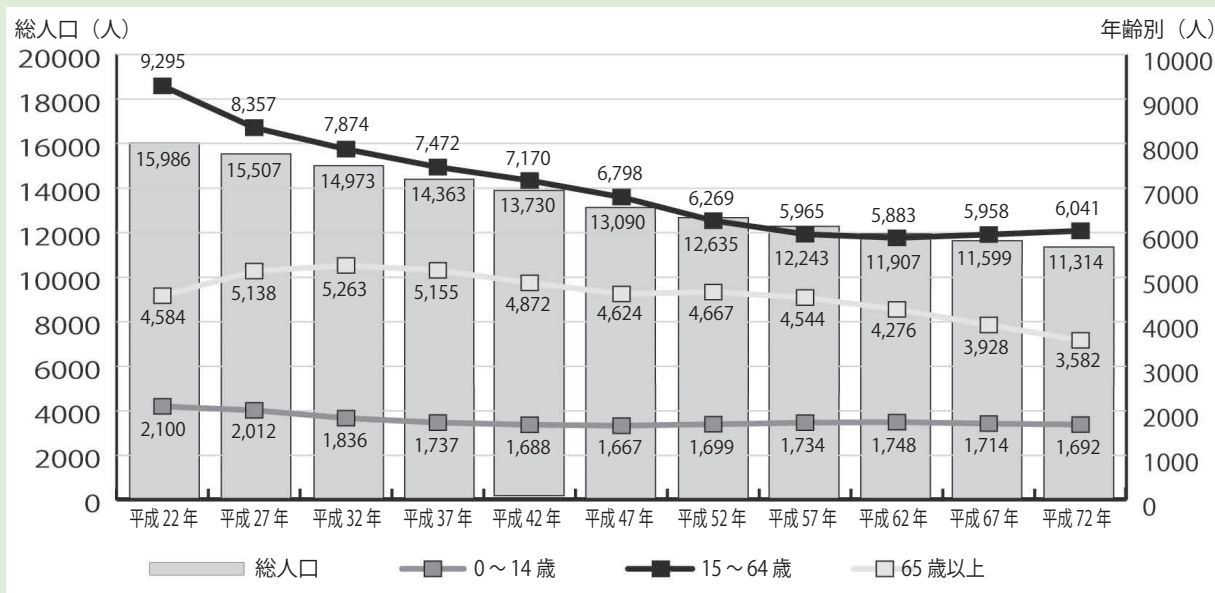
・田布施町まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）およびアクションプラン（案）

◇提出方法

提出される文書に住所・氏名・電話番号を明記し、総務企画課へ郵送・FAX・電子メールまたは持参のいずれかで提出

◇提出先 田布施町役場 総務企画課 企画係

▼本町の将来人口の年齢区分別推計



第2回庁舎問題等検討町民委員会

本庁舎役場を旧田布施工業高校本館に移転する方向で検討することとなりました。

■配置【案】(旧田布施工業高校・本館棟)



■第2回委員会

8月17日(月)、第2回庁舎問題等検討町民委員会が開催されました。

委員会では、前回提案された3案(①現庁舎を改造して使用、②旧田布施工業高校の本館を活用して移転、③新築)について協議が行われました。

■基本方針について

協議の結果、基本方針として、②案の旧田布施工業高校の本館を活用する案(配置・敷地案の図参照)で、町に検討を進めてほしいとの意見が、全員一致で取りまとめられました。基本方針の取りまとめの際に、次の提言・要望がありました。

○提言・要望

- ・現庁舎の平屋建の施設部分を残し、保健センター・社会福祉協議会などが複合利用しては
 - ・移転庁舎には総合案内所などを設置してほしい
 - ・庁舎移転案に保健センター機能を追加してほしい
 - ・少しでも、将来への財政負担の軽減をしてほしい
 - ・移転庁舎内外に、点字ブロック・手すり・身障者用トイレの設置など
 - ・駐車場となる現グラウンドとの段差解消のための対応を
 - ・会計室スペースの拡張など
- その他、委員である山口銀行から、今後の維持管理まで含めた民間資金の活用について提案がありました。

■敷地【案】(旧田布施工業高校)



※配置案・敷地案は、現在協議中で、今後変更になる場合があります。